



オリジナルマップの作成例

- 1 避難場所**
災害が起こった時に避難する場所をあらかじめチェックしておきましょう。
- 2 目印となる場所**
避難経路上で目印となる場所を書き込みましょう。特に曲がり角には分かりやすい目印を書き込みましょう。
- 3 危険な場所**
川の近くなど、洪水時に危険となるような場所には印をつけておいて、その道は通らないようにしましょう。
- 4 自宅**
あなたの自宅を書き込みましょう。
- 5 避難経路**
避難場所までの経路を書き込みましょう。

日頃から備えておくこと
状況に応じた避難ルートを
確認しておこう！

自宅周辺の災害危険性を
把握しておきましょう

避難先・経路・方法を
確認しておきましょう

非常持出品の
準備をしておきましょう

- ### 凡例
- 【指定避難場所等】
- 指定避難所
 - 福祉避難所
 - 土砂災害警戒区域等
床下浸水の危険性
 - 要配慮者利用施設
- 【防災関係施設】
- 消防署
 - 警察署・交番
 - 水位観測所

土砂災害の凡例

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

急傾斜地の崩壊

がけの高さの2倍の
距離まで土砂崩れの
危険性があります。

避難方向 急傾斜地の上端 急傾斜地の下端

警戒区域 特別警戒区域

土石流

避難方向 警戒区域 特別警戒区域

地すべり

最大60m
特別警戒区域 地すべり区域
警戒区域

高潮浸水想定区域

浸水深 (m)

- 5m以上～10m未満
- 3m以上～5m未満
- 1m以上～3m未満
- 0.5m以上～1m未満
- 0.3m以上～0.5m未満
- 0.3m未満

浸水実績箇所

※高潮の浸水想定区域よりも大きな高潮が発生し、浸水想定区域外でも浸水したり、浸水深より深くなったりする場合があります。

●この地図の作成にあたっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の基盤地図を使用したものである。 令和8年3月作成
「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 7JHs 1100」